

第1回加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会 議事要旨

開催日時：令和4年2月25日（金）15：30～17：00

開催場所：オンライン会議

出席委員：武田委員、高山委員、道地委員、北村委員

事務局：深村副市長、横堤政策戦略部長、藏政策戦略部政策官、柴田総務部長、
岡田政策戦略部次長、小出仙スマートシティ課マネジャー、奥野財政課長、
細野スマートシティ課リーダー 他

- 次 第：1. 開会挨拶
2. 委員紹介
3. 委員長の選出について
4. 公共施設の状況について
5. 検討の進め方と方針について
6. その他

要 旨

1. 開会挨拶
(深村副市長より挨拶)

2. 委員紹介
(事務局より委員紹介)

3. 委員長の選出について
(事務局より、委員長に武田委員を推薦)

(異議なし)

(武田委員長より挨拶)

4. 公共施設の状況について
(事務局から資料3～6を基に説明)

(武田委員長)

- ・本委員会で検討する「温浴施設、大ホール機能、スポーツ施設、地区会館以外の集会施設、図書館等」だけでも、かなりの施設があり、3月末までにすべての施設について検討を深めることは難しいと考える。
- ・そこで、委員の皆さまから意見いただきながら施設を絞って、現地調査や利用状況などを踏まえて踏めて検討していきたいと思う。

(異議なし)

(武田委員長)

- ・まずは温浴施設から意見を伺いたい。

(北村委員)

- ・錦城、山代、片山津には各1施設であるのに対し、山中には3つの施設があり、老朽化も進んでいるため、まず山中の施設を検討してはどうか。中でも、ゆけむり健康村は、市の維持運営負担額が他の施設よりも非常に大きな施設となっているため、検討施設になると思う。

(高山委員)

- ・公共施設の維持管理・更新を検討するにあたっては次の情報を整理する必要があると考える。
 1. 施設の必要性や効果（健康に寄与する効果がある等）
 2. 施設を廃止した場合の代替施設
 3. 施設を廃止した場合の削減コスト（更新費＋維持管理費）

(道地委員)

- ・高齢化社会が急速に進展している今、健康維持に必要な施設は重要である。
- ・総湯とは、他の地域では見られない市民にとって思い入れのある施設だと思う。
- ・評価にあたっては、それぞれの施設の特性を考慮する必要があると考える。

(武田委員長)

- ・ゆけむり健康村に関しては、昨年、検討委員会に於いて話をしていたが、市全体の状況を見てみると、改めて、検討が必要と考えられるので、検討対象とする。
- ・この施設は、温浴施設の他、プールやフィットネスジムなどがある多機能併設の施設となっているので、各機能の状況を踏まえて、検討を進める。

(武田委員長)

- ・続いて、集会施設・大ホール機能について検討したい。収容人数で見ると、1,000人を超える大規模の施設が2つと、小規模の施設3つに分かれる。
- ・1,000人を超えとなるとかなり大規模となるが、近隣自治体でも同等の集会施設はあるのか。

(事務局)

- ・県内の近隣自治体だと、小松市と能美市にそれぞれ一つあり、川北町にはない。
- ・福井県だと、あわら市、坂井市にはないが、鯖江市と越前市にそれぞれ一つある。

(武田委員長)

- ・1,000人を超える規模の施設が二つある自治体は、近隣にはないということか。

(高山委員)

- ・文化会館及び山中温泉文化会館の利用頻度は年間何件程度か。
- ・主な利用者や利用目的も示してほしい。
- ・同じ文化会館で、市の維持運営負担額に大きな差があるのはなぜか。

(事務局)

- ・次回お示しする。

(武田委員長)

- ・山中温泉文化会館は、団体事務所機能を有するとのことだが、どのような団体が入居しているのか。

(事務局)

- ・まちづくり団体や商工会、観光協会などが入居している。

(武田委員長)

- ・大ホール機能だけでなく、各団体の事務所機能の確保も考えねばならない。
- ・大規模な施設である文化会館及び山中温泉文化会館を検討対象としたい。

(武田委員長)

- ・続いて、スポーツ施設を検討したい。この施設は、水泳・屋内一般競技・武道場・屋外競技施設と複数あるので、事務局からもう少し状況についての補足や説明を

お願いしたい。

(事務局)

- ・水泳施設については、屋内プールの老朽化があり、早急に対応が必要な状況と聞いている。
- ・屋外プールは50mと大規模であり、近隣自治体を見ると、小松市にあるが、能美市、川北町、あわら市、坂井市にはない。
- ・利用状況でいうと、屋外プールは7月～8月のみの利用となっており、飛び込みプールに至っては使用していない状況である。
- ・屋内一般競技施設については、東和中学校区にもう一つ体育館があったが、平成29年に機能転換をしており、すでに削減がなされている。
- ・武道場については、加賀市武道館は改修に向けて検討を進めているところで。山中武道館は、担当課において閉館に向けた必要予算を来年度に計上している。
- ・最後に、屋外施設の大聖寺市営テニス場は、5年前に地元の方から寄付を受けて改修したところである。また、中央公園のテニスコートにしても、あまり維持費がかかっていない状況である。
- ・陸上競技場は市内で唯一の施設であり、中央公園野球場も市内で唯一の観覧席を有するものである。

(武田委員長)

- ・スポーツ施設は様々な種類があるので、まずは耐用年数が超過もしくは迫っているプールから検討したいと考える。

(高山委員)

- ・プールは三つあるがそれぞれ異なる機能を有するので同列に比較はできない。
- ・飛び込みプールは使われていないようだが、維持管理はどうしているのか。
- ・市の維持運営負担額について、プールは三つの施設の費用が一体になっているため、施設毎のデータがないと検討は難しい。

(道地委員)

- ・三つのプールの配置関係を示してほしい。

(武田委員長)

- ・この資料だけでは状況がわからないので、現地視察を行ったうえで検討を進めたい。

(武田委員長)

- ・最後に、図書館について意見を伺いたい。

(高山委員)

- ・図書館は、市の文化度、品格を示す一つの指標であるので、デジタル図書館を進めるにしても当面は必要と考える。
- ・利用者数を見ても市民一人当たり3回以上使っており、利用率は高いので重要な施設ではないかと思う。
- ・費用は掛かっているが、耐用年数まで20年以上あるので、デジタル化などにより、より機能を高めて利便性を確保していくのがよいと思う。

(道地委員)

- ・学生は、借りたい本があっても地元では手に入らないため、学校でなければ借りられない状況にある。デジタル化進めば様々な本が入手しやすくなり、図書館は、学生が情報を得る窓口になると思われる。

(武田委員長)

- ・デジタル化を進めていくにしても、図書館は、教養や文化の側面が強いことから、存在は重要である。
- ・まだ耐用年数もきておらず、今の段階でどちらかを整理するという議論には乗ってこないと判断し、今回の評価の対象からは外すこととする。

5. 検討の進め方と方針について

(事務局)

- ・本日いただいた意見を整理し、資料を用意したい。
- ・現地を見なければわからないことが多いと思われるため、第2回委員会の前に現地視察を行いたい。
- ・次回以降の委員会は次のような予定で進めたい。
 - 第2回委員会では、対象施設の所管課からヒアリングを行う
 - 第3回委員会では、各施設のあり方の方針を検討する。
 - 第4回委員会では、答申内容を確認し、市長へ答申する。

(武田委員長)

今後の進め方について、ご意見はございますか。

(意見なし)

6. その他

(事務局)

- ・ 今後もコロナ禍での開催となることが予測されることから、今後についてもオンラインによる開催を基本とする。
- ・ 本委員会の開催の様子は後日、HPに掲載する。
- ・ 第2回目の委員会と、現地確認の日程については、改めて調整する。